

2023年8月24日

シールド乳酸菌®の摂取が健常成人男女の体調を維持

“健康力をサポートする”をキーワードに選抜されたシールド乳酸菌®の効果を確認
～科学雑誌『Nutrients』掲載～

森永乳業では、このたび、山口県・山口市、やまぐちヘルスラボ*¹との産官連携で臨床試験を実施し、シールド乳酸菌® (*Lactocaseibacillus paracasei* MCC1849)*²の摂取が、健常成人男女の鼻づまり、のどの痛みといった局所症状や、局所および熱っぽさなどの全身症状を含め総合的に解析した風邪様症状の自覚症状を緩和することを確認しました。本研究結果が Nutrients 誌に掲載されましたので、ご報告いたします*³。

【研究の背景と目的】

シールド乳酸菌®は、これまでの研究から風邪を引きやすい健常成人女性*の風邪様症状の発現を抑制することが報告されています。今回、より幅広い年齢層の成人男女を対象に、シールド乳酸菌®の摂取が体調維持に与える影響を調査しました。

*過去1年以内に風邪を罹患した自覚のある健常成人女性

【研究の内容】

対象者 : 山口県在住の健常成人男女 200名 (21～62歳)
試験デザイン : ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間試験
期間 : 2021年12月～2022年5月 (摂取期間24週間、摂取終了後1週間)
内容 : 対象者をランダムに2群に分け、プラセボまたはシールド乳酸菌® (500億/日)を含む食品のいずれかを摂取していただき、期間中は毎日鼻やのどなどの体調に関する日誌に回答いただきました。試験終了後、各症状の発症日数や、1回の発症における症状の持続日数などについて評価を行いました。

【主な結果】

「シールド乳酸菌®」を摂取した群では、プラセボ群と比較して”鼻づまり”の発症日数や、”鼻づまり”および”のどの痛み”の症状の持続日数が有意に減少することが分かりました。また、全身や局所の症状を総合的に解析した”風邪様症状”の発症日数 (症状が発症している日数の評価)、持続日数 (1回の発症でどの程度症状が続いたのかの評価) についても、シールド乳酸菌群でプラセボ群に比べ有意に減少する結果が得られました (図1)。

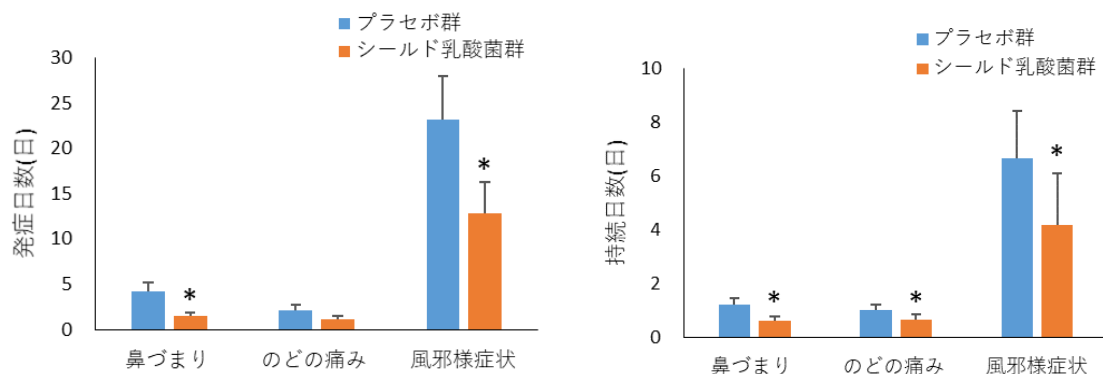


図1 鼻づまり、のどの痛み、風邪様症状の発症日数(左)、症状の持続日数(右)
(群間で有意差あり * $p < 0.05$)

【まとめ】

本試験結果より、シールド乳酸菌®の摂取により、健常成人男女の鼻づまり、のどの痛み、風邪様症状が緩和されることが明らかになりました。24週間の長期摂取における副作用は確認されず、シールド乳酸菌®が日々の食事を通じた体調維持に寄与できる可能性が考えられました。山口県、山口市、やまぐちヘルスラボとの取組みによって得られたこれらの知見を、森永乳業では、これからも多くのお客さまの健康と幸せな生活に貢献できる機能性素材として活用してまいります。

<参考>

※1 山口県・山口市(やまぐちヘルスラボ)との産官連携

山口県・山口市は、企業が開発するヘルスケア関連製品等の事業化支援を行う「やまぐちヘルスラボ」を設置しており、当社では、2021年よりやまぐちヘルスラボとの産官連携体制で、菌体やペプチドなどの食品成分が健康に与える影響を検証するための取組みを進めております。2023年には、山口県・山口市と「ヘルスケア関連産業の振興等に係る連携協定」を締結いたしました。今後も「食と健康」に関する研究を共同で進め、地域の皆さまの健康維持に貢献してまいります。

※2 シールド乳酸菌® (*Lactocaseibacillus paracasei* MCC1849)

シールド乳酸菌®は、「健康力をサポートする」をキーワードに、森永乳業が保有している数千の菌株の中から選ばれた乳酸菌です。食品本来の味わいを損ないにくいため、「おいしさそのままに」乳酸菌を手軽に摂ることができます。これまでに500社以上の企業、のべ1000種類以上の商品に採用されています。

※3 論文タイトル・著者

Effects of Heat-Killed *Lactocaseibacillus paracasei* MCC1849 on the Maintenance of Physical Condition in Healthy Adults: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group Study

(*Lactocaseibacillus paracasei* MCC1849 加熱殺菌体による体調維持に関するランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間試験)

Soichiro Sato, Satoshi Arai, Noriyuki Iwabuchi, Miyuki Tanaka, Ryosuke Hase and Naoki Sakane

Nutrients 2023, 15(15), 3450;

<https://doi.org/10.3390/nu15153450>